

平成26年度の事業計画書

平成26年 1月 1日から平成26年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本の森バイオマスネットワーク

1 事業実施の方針

普及啓発の段階からさらに一步踏み込み、森林資源の活用を通じて地域経済を活性化する具体的な仕組みづくりを進める。ペレットストーブについてはこれまで以上に導入を進めるほか、新たに温泉施設や農業ハウスなどでの薪ボイラーの導入支援に取り組む。ペレット燃料や薪といった木質バイオマス燃料の販売・供給も行うことで組織としての経済的自立を図る。

ソフト事業としても森林環境保全や森林資源の利活用について学ぶことの出来る体験型のツアーやプログラムを催行する。これにより市民が森に触れて考える機会を増やし、国産材や木質バイオマスの利用拡大に資する。

2 事業の実施に関する事項

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 予定日	実施場所	概要
① ペレット、薪炭等の森林バイオマスエネルギーの活用推進	ペレットストーブの普及促進	随時	全国	ペレットストーブの普及啓発活動や導入支援を行う。
	薪ボイラーの導入支援	随時	宮城県、福島県他	温泉施設の昇温やハウス栽培の暖房用に薪ボイラーの導入コーディネートを行う。
	木質バイオマス燃料の販売	随時	全国	木質ペレット燃料や薪、着火剤といった木質バイオマス燃料の販売を行う。
	J-VER 制度等を利用した排出権取引	随時	全国	ペレットストーブの利用等を通じたオフセット・クレジットの獲得と販売。
② 建築、木工等の材木の活用推進	組手仕の販売	随時	東北・関東圏	組み立て式の間伐材キット「組手仕」の販売を行い、木のある暮らしの魅力を発信する。
	木工品の販売	随時	全国	火起こし器や小物など、国産材を利用したグッズの商品開発・販売。

③ 森林をテーマとした環境教育の推進	手のひらに太陽の家プロジェクト	随時	宮城県登米市	東日本大震災で被災した親子の支援を行う。また、一般社団法人くりこま高原自然学校と協働して環境教育や災害教育、人材育成の場としての事業化を行う。
	普及啓発活動	随時	全国	森林資源の活用や森林環境の保全をテーマとした講座やフォーラムの開催、また展示会やイベントでのブース展示などの普及啓発活動を行う。
	森の学校	随時	宮城県大崎市、登米市ほか	持続可能な森林管理を担う林業家を育成するための研修事業を行う。NPO法人しんりんと協働事業。
	森林体験活動の実施	随時	宮城県北部ほか	恒例事業の植林活動「山への恩返し」のほか、伐採体験や薪割り体験など森林環境保全や森林資源の活用について学ぶことの出来る体験型プログラムを実施する。
	CSR 活動、社員研修の受け入れ	8月～9月	宮城県北部	森づくりや震災復興をテーマとした企業の社会貢献活動、研修の受け入れ。
	フリーペーパーの発行	1月、4月、7月、10月	全国	持続可能なライフスタイルを普及啓発するフリーペーパー「ふんわり」の発行。